

りつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
238

2009
OCTOBER



Brilliance
輝くひと

70

メダルに必要なのは「自信」と「覚悟」
セカンドウィンドAC
加納 由理 さん（01 経済）

巻頭企画

秋を立命館で
楽しみませんか

— 母校の学園祭の見所紹介 —

03 巻頭企画

秋を立命館で楽しみませんか ——母校の学園祭の見所紹介

その1: BKC

その2: 衣笠

その3: 学園祭むかしといまのユニーク企画

その4: キャンパス周辺の紅葉情報

01 輝くひと

加納由理 さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

使命感こそが、仕事の一番の推進力になると思います。

株式会社東芝 執行役常務 関西支社長

川下史朗 さん

12 都道府県校友会長を訪ねて

北海道校友会会長 広長明夫 さん

新潟県校友会会長 小野守通 さん

14 校友会報からひととく校友会の歩み

16 校友会ネットワーク

18 立命館大学の各キャンパスに校友サロンを設けました

19 「立命館 思い出の場所はいま…」に関するアンケート

20 立命館明日へのことば

環境、エネルギー、医療…21世紀の課題解決に挑戦する

村上正紀 副総長

22 立命館の研究者たち

薬学部 加藤稔 教授

24 学生のスポーツ&イベント

26 キャンパストピックス

29 輝いています、ときの人

小野大助 さん

30 INFORMATION

31 編集室から



表紙の人



セカンドウィンドAC

加納由理さん ('01経済)

メダルに必要なのは「自信」と「覚悟」

8月にベルリンで行われた世界陸上の女子マラソンに出場し、見事7位に入賞した。厳しい暑さや狭いコースというきつい条件の中、最低限の目標をクリアし、ゴール後に笑顔で撮影に応じていたのが印象的だ。しかし、その裏側では「悔しさも半分あった」。

兵庫県出身。身長152cmの陸上選手で、5度目のフルマラソン挑戦だった。立命館大学の陸上競技部関係者が世界陸上や五輪に出場するのは1936年以来の快挙で、大会前には、同部OB・OG会が壮行会を開くなど、周囲の大きな支えを受け、日本代表として初めて、世界に挑んだ。

憧れやイメージを大事にしている。兄の影響で中学生から陸上を始めた動機は「強くなればレースで色んな所に行けるから」。当初から長距離の選手で、大学を選ぶ際には高校時代の目標だった「全国高校駅伝」の舞台である京都で学び、走りたいという思いを大切にしたい。

30歳。走りの原点に「学生時代」を挙げる。中でも、大学3年で出場したユニバーシアードの経験が大きく、この頃に「諦めなければ目標がかなう」ことを確信し、世界も視野に入れ始めた。卒業後は強豪、資生堂に入社し、主にトラック競技で活躍。そして2007年、当時の川越学監督がセカンドウィンドAC(アスリートクラブ)を設立したのを機に、師とともに新チームに移った。

負けん気が強く、気持ちで走るランナー。一方で、駆け引きで負けることも多かった。しかし、年齢や経験から走りに余裕ができた。納得のいくトレーニングを積み重ねることによって自信を培い、安定感が出てきた。そして、勝敗を決めるのは「試合に懸ける気持ち」であることも今はわかっている。

満を持して挑んだ世界。当日の朝は、いつものように赤飯で験担ぎ。ベルリンの美しい街がステージとなったレースはスローペースの中、25km辺りで動いた。「まだ距離があったので迷っているうちに離されてしまった」という加納選手は、30km付近で先頭集団から脱落、トップから1分42秒遅れてゴールした。

「最低限の目標は達成できたが、もう少し上を狙っていた」。レース後のインタビューで悔しさをにじませた。しかし、世界の強豪との戦いから得た収穫は大きい。「まだまだ経験不足。メダルを取るためには今以上の『自信』と、自分でレースを動かす『覚悟』が必要。次は型にはまらない、一皮むけたレースがしたい」。

「セカンドウィンドAC」<http://www.sw-ac.com/>

(写真・小幡 豊 文・山口起儀)



を立命館で楽しみませんか

母 校 の 学 園 祭 の 見 所 紹 介

毎年10万人規模の来場者を集め、関西最大級といわれる立命館大学の学園祭。100を超える企画や多数の模擬店・フリーマーケットが登場する大盛況のイベントです。学生時代の思い出として、心に残っている校友の皆さまも数多くいると思います。

これまで広小路キャンパス、および衣笠キャンパスで開かれていた学園祭ですが、1994年のびわこ・くさつキャンパス(BKC)の開学以降、衣笠、BKCの2会場で開催し、特色のある学園祭を展開しています。

しかし、この学園祭、学生だけの祭典ではありません。子どもから高齢者までが楽しめる企画が用意され、校友をはじめ広く一般の方もご参加いただけます。古く受け継がれているものもあれば、新しい立命館を象徴する企画などさまざまで、いずれにしても、母校の今を堪能できるイベントです。ぜひ、ご参加ください。

開催テーマは「spaRkle(スパークル)」。「個々の学生が“きらめき”、相互に“きらめかせる”学び合いの様子、また、学生文化そのものを“きらめき”として、大学をとりまく社会に向けて発信していく」という想いが込められたテーマとなっています。

BKCは11月7日(土)、8日(日)、衣笠は11月14日(土)、15日(日)にそれぞれ開催。校友の皆さまには一足早く、その見所を紹介します。

2009年度立命館大学学園祭
テーマ: **spaRkle**





参加型企画「リッツアドベンチャー」

毎年好評となっている来場者参加型イベント。今年は巨大企画の「リッツアドベンチャー」です。二人一組となって、探し物企画や迷路、謎解き、クイズといった難関ゲームに挑戦する内容です。それぞれのステージに設定された条件をクリアし、予選、準決勝、決勝へと進む、勝ち抜き戦形式です。2日間に亘って行われ、賞品も当たります。

“巨大”と銘打つだけあって、その舞台となるのは「BKC校内全域」という驚きの規模です。キャンパスを散策し、他の企画に立ち寄るなどしながら参加してみてはいかがでしょうか。

立命館大学学園祭は11月7日(土)、8日(日)のBKC学園祭で幕開けとなります。学生が地域、高齢者らと一体になって、朝から晩まで盛り上がるができるイベントです。

キャンパス内には例年より3つ多い5つのステージが設置され、色々な場所で古典芸能や音楽、ダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられます。

また、誰もが参加できる勝ち抜き形式の大規模なゲームイベントが行われるほか、広い校内に約120店の模擬店が出店。さらに100近くの団体による活動発表や、毎年、地域の人が楽しみにしているBKC名物の「花火」といった定番企画も健在です。

秋の夜空を彩る花火と充実したステージイベント!



雅楽会

校友の皆さまをはじめ、多くの参加者が楽しめます。メンバーは「参加者に伝統文化である『雅楽』を好きになっていただきたい」と意気込んでいます。BKC、衣笠の両会場で管弦「越殿楽(えてんらく)」や、舞楽「迦陵頻(かりょうびん)」といった演目を繰り広げる予定です。



BKCのR-1グランプリ受賞企画

「R-1グランプリ」とは、厳正な審査を経て選出した、BKC学園祭実行委員会イチ押しの企画です。BKCでは「Ritsumei Music FESTIVAL 2009」という企画が受賞しました。

3つの音楽団体による合同の企画は、様々なジャンルの音楽を体感できるイベントです。その内容はロック、アニメソング、ジャズといった、様々な種類の音楽を順に1つのステージで演奏するというもの。3カ所にステージを設け、各ステージで音楽フェスティバルを展開します。

来場者が興味のある音楽のほか、今まで聴いたことがなかったジャンルの曲を生で聴くことができるのが特徴です。これまで知らなかった新しい音楽に出合えるかもしれません。



衣笠



注目! 華やかに彩られるキャンパス

キャンパス内の様々な場所が手作りのデコレーションで飾られます。また、東門には学園祭のテーマに沿ったデザインのアーチが登場します。

また、今年はイルミネーション企画を実施する予定で、電飾の華やかさがキャンパス全体を美しく彩ります。幻想的な光景が眺められるほか、来場者が記入したメッセージを飾って楽しめるなど、キャンパスがロマンチックな空間に変身します。

衣笠学園祭は11月14日(土)、15日(日)の2日間に亘って開催。「来場者が楽しめること」を一番の念頭に置き、学生だけでなく、子どもから高齢者までの幅広い世代に馴染んでもらえる企画を取り揃えています。

目玉の「参加型企画」は、ラリー形式でポイントを集め、ゴールすれば学園祭グッズが当たるという内容です。小さいお子様でも楽しめるので、ぜひご家族で挑戦してみてください。

キャンパス内では色々なアイデアが詰まった、豊富な種類の模擬店が至る所に軒を連ね、様々な角度から楽しめます。さらに、恒例の「大文字マラソン」のほか、100近い団体による企画が校舎の内外で催されており、外を回って歩き疲れたら、室内の催しを鑑賞するなど、ゆっくり、たっぷりと楽しめます。

飾られた空間でゆっくりたっぷり楽しめる!



注目! 衣笠の環境活動

3年前から導入している「リユース食器」は今年も使用します。この取り組みにより、ゴミの量が約50%削減されています。皆様のご協力をよろしくお願いします。



注目! 衣笠のR-1グランプリ受賞企画

BKC同様、衣笠学園祭実行委員会が自信を持ってオススメする企画です。難関をくぐり抜けてグランプリを受賞した団体は美術研究部、立命PENクラブ、写真部による合同企画です。その内容とはというと、設定したテーマについて、美術、文章、写真などで表現し、芸術に親しんでもらおうというものです。一度に色々な要素の作品を見て楽しめるほか、来場者と一緒に作品を作ることができます。皆さんの新たな発見につながるかもしれません!



注目! 落語研究会

毎年、地元の人や校友、父母ら多数の人々が様々な団体の企画を観賞されています。中でも、落語研究会は「大喜利」や「三題噺」など、観客から受けたお題に基づいて進める企画が好評です。生の落語を鑑賞したことがある人は意外に少ないようです。気軽に来場できる環境ですので、ぜひお立ち寄りください。BKC、衣笠の両会場で公演します。



WELCOME
HAVE A NICE DAY!
ウィリアムズ
クラブ
おひげBar
新橋店
模範店 アパ
ルメント
GET!

驚馬



ユニークなのが参加賞。参加者には生協から無料でうどんが振舞われたほか、体育の授業の「6時間認定」などの“特典”もあったようです。

燃



衣笠の大夜祭のフィナーレとくればキャンプファイヤーを連想する方も多いのではないのでしょうか。しかし現在、このキャンプファイヤーは行われていません。以前は大夜祭の最後を締めくくっていましたが、衣笠キャンパス内の中央グラウンド(現在の中央広場付近)に芝生が敷かれたのを機に、2000年からは行われなくなりました。

その他

このほか、90年代前半まで行われていた、河原町や円山公園などを練り歩く仮装行列や、夜中に小さなお寺をめざして歩くイベントなど、立命館大学の学園祭の歴史の中には、ユニークな企画が数多くあります。

爽



金閣寺前や仁和寺前、きぬかけの路などを通る約10キロの「大文字コース」と短いコースの2種類を設定します。今年は11月15日(日)に実施。もちろん、どなたでも参加できます。

華



BKCの学園祭名物の一つに、秋の夜空を彩るエンディングの花火があります。学園祭で花火を打ち上げというのは全国的にも稀な企画で、学生だけでなく、地域の人々も楽しみにしているようです。BKCの2日目の最後を飾る企画で、今年の締めくくりは、BKC学園祭史上初めてとなる“文字花火”という、一風変わった花火が登場する予定です。ご期待ください!

キャンパス周辺の紅葉情報

この季節はキャンパスやその周辺で紅葉も楽しめます。BKCではテニスコートやセントラルサーカス、駐車場の周辺で鮮やかな紅葉が見られます。衣笠キャンパスは正門や南門付近のほか、正門向かいに臨む衣笠山もほどよく色づきます。また、等持院や龍安寺、仁和寺といった衣笠周辺の社寺でも紅葉が楽しめるのは言わずと知れたことです。母校の学園祭に参加し、イベントとともにのんびりと紅葉を眺めてみてはいかがでしょうか。



龍安寺の紅葉

仁和寺の紅葉

BKC

BKC学園祭事務局 大友元局長(情理2回生)

学園祭は学生が成長し、学んだことを発表する場です。校友の皆さまに学生時代のことを思い出していただけるようなイベントにし、これまで以上に立命館を好きになってもらいたいです。若い方から高齢者までの幅広い世代の方が、朝から晩まで楽しめる企画をご用意しています。先輩方のご来場をお待ちしております。



詳細はBKC学園祭HPをご覧ください。
<http://www.rits-fes-by-e2.net/>

BKCに行くには・・・？

- JR「南草津」駅より、近江鉄道バスの「立命館大学行き」または立命館大学経由「飛鳥グリーンヒル行き」に乗り、「立命館大学」もしくは「立命館大学正門前」のバス停下車(乗車約10分)。



衣笠

衣笠学園祭事務局 中村桂介局長(産社3回生)

先輩方が在学していた頃と比べ、キャンパスも様変わりしていると思います。また、学園祭も変化を遂げる一方で、ずっと引き継がれている企画もあり、懐かしさと新しさを感じていただけたと思います。事務局では「立命館はすごいなあ」と感じていただける学園祭をめざしています。ぜひ、懐かしの母校へ足を運んでください。



詳細は衣笠学園祭HPをご覧ください。
<http://www.rits-fes.net/>

衣笠キャンパスに行くには・・・？

- JR・近鉄・地下鉄「京都」、阪急「西院」「大宮」、京阪「三条」JR・地下鉄「二条」、JR「円町」の各駅から市バス、およびJRバスに乗り、「立命館大学前」もしくは「衣笠駅前」で下車。
- 京福「龍安寺」「等持院」の各駅より徒歩6分。



※バスの系統、および時刻は各自でお調べください。

使命感こそが、 仕事の一番の推進力になると思います。

川下 史郎 さん（'72経済）

株式会社 東芝

執行役常務 関西支社長

コミュニケーションという仕事

東芝の関西支社長である川下さんのオフィスは、大阪のランドマーク的存在として親しまれている「梅田スカイビル」の高層階にある。大阪平野一帯を見渡せる快適なオフィスだが、川下さんがここにいるのは、1日のうち1～2時間ほどである。窓から見える景色の、さらにずっと先にまで、川下さんの仕事の現場は広がっているのだ。

川下 とにかく頻繁にあちこちへ出かけて、いろいろな方とお会いするのが日常です。支社長の仕事は何かと言いますと、関西2府4県にある東芝のグループ会社62社と、日頃から様々なご支援をいただいている代理店さん、こういう方々とよく連携し、関西の東芝関係者の気持ちをひとつに束ね、効率も成果も最大限に上げられるようにマネジメントすることです。もちろん、お客様との良好な関係を築いていくことも重要です。これらを達成するために何を成すのか。このビルも高いけれども、私に与えられている目標・課題のレベルもかなり高いですよ（笑）。皆さんの気持ちのベクトルをひとつに合わせるには時間がかかりますが、とてもやりがいのある仕事です。

ここは支社とはいえ、本社にある機能はほとんど備わっています。サービスや商品も、それこそ電球1個から巨大なシステム一式まで幅広いですから、把握しておかなければならない情報の量はかなりのものです。お客様をはじめ皆さんとお会いする前には、勉強が欠かせません。

原子力発電の夜明けを支えて

川下さんの立命館大学入学は1968年。その後、学内は学園紛争に揺れた。個々の学生の運動への係わり方は様々であったが、“団塊の世代”の若者は皆、多かれ少なかれ日本社会の将来に思いを馳せ、エネルギーギッシュであった。

当時、昭和の高度経済成長はまだ続いており、電化製品が生活の中でどんどん身近なものになっていった。その代表的なメーカーのひとつである東芝（当時：東京芝浦電気）は、近所に同社の製品を売る電器店があったことも手伝って、川下さんの意中の企業となった。

晴れて入社して営業マンとなったが、担当した“商品”は、途轍もないものだった。

川下 私が担当したのは、原子力発電所です。営業という職種も、原発を担当するということも、新入社員に選択肢はありません。これが君の仕事だと言われたら迷わずに、突き進むだけでした。

現在、東芝グループは、世界でシェアNo.1の原子力発電所メーカーです。私が入社した1972年は、国内の各電力会社とも、原発の営業運転を始めたばかりか、あるいは1号機を建設中といった頃で、まさに日本の原子力発電の黎明期でした。かなりの部分を海外に依存しているのが日本のエネルギー事情ですが、原子力発電の普及によって何とかそれを改善し、安定供給を図ろうというわけで、国のエネルギー政策の重要な柱だったのです。国と、電力会社と、我々メーカーとが一体となっ



て、日本の将来のためにと一生懸命に取り組んでいました。

お客様は電力会社さんです。原発のプラント1基、全てを担当しました。技術的なことがさっぱりわからず、最初はとても苦労しました。入社して3年ほどは、専門書を死に物狂いで勉強したものですよ。当時、1プラント2000億円程度。価格の内訳表だけで分厚いファイル何十冊にもなり、技術陣の力を借りて資料一式を揃え、お客様に我々のプラントの長所を理解していただき、契約にこぎつけるまでには3年以上もかかりました。正月も会社で過ごすことが度々ありました。

まるで、かつてのNHKの人気番組、「プロジェクトX」にも出てきそうな話である。そして容赦なく、更なる試練が川下さんと仲間を待ち受けていた。

川下 納めたプラントに不具合が生じたこともあります。お客様、当社の技術陣と一緒に問題解決に当たるのですが、こういう時にこそ、本物の信頼・誠意をお互いに深く感じ取ったものでした。関係者の誰もが、明日のエネルギーのためにはここで挫けてはだめだという気概をもっていました。

原子力発電所のトラブルというと、たとえ小さな事象であっ

ても、社会に与える影響は大きいものです。放射能、廃棄物など、どうしても原子力の影の部分がクローズアップされてしまっていますが、本当はそれ以上にエネルギー・環境問題の解決に貢献するという光の部分が多いのです。当時の我々は声高には言いませんでしたが、しっかり仕事をする事で原子力の必要性を皆さんに理解していただきたい、身をもって伝えたいと考えていました。

あの頃はみんな迫力がありましたね。熱くなれたんですよ。激動の学生時代を経ていましたからね。私はノンポリでしたが、4年間を通じて議論は好きで、よくしましたよ、友人同士。明け方まで、社会のことや政治のことを真剣に語り合いながら京都の街を歩いたのを覚えています。いま振り返れば、学生時代の熱気をそのまま仕事にぶつけていたのでしょうか。

営業の醍醐味

入社以来22年間を原子力発電所の営業一筋に歩み、着実にキャリアを築き上げていった川下さん。大きな転機や、決定

的な影響を受けるほどの出会いは特にはなかったそうだが、その分、日々ごく普通に繰り返す仕事の中から、あるいは営業の先輩の背中から様々な仕事の極意を感じ取り、それらを積み重ねて自らの肥やしにすることを心掛けてきた。

川下 営業の基本とは、お客様を大切にすることです。社内で良い人間関係を築くためにも応用できる部分がありますね。たくさん先輩それぞれの良いところを真似して、身につけていくわけです。「この場面ではこうしろよ」などと言葉で教えてくれる人はまずいません。例えば、良いタイミングで電話1本かけておく、明日でいいと言われても1時間以内にレスポンスする等々、様々な誠意の示し方があるわけですが、言葉では言い尽くせないものです。生まれ持ったセンスも影響してくるでしょう。お客様に喜んでいただきたいという熱意と、そのための勘どころ、これらを両方持ち合わせて、きちんと実行するこ



とができれば、信頼を得ることができるのです。深い信頼関係を築くことが、営業の仕事の醍醐味のひとつだろうと思います。行動自体は特に難しいものではなくて、むしろ愚直なことの繰り返しが大切です。

私の場合、スケールの大きな“商品”を、社会貢献できているという自負心をもって担当し、しかもお客様とは10年、20年と長くお付き合いできたという、まさに営業マン冥利につきる有り難い環境だったと思っています。

営業担当者は、会社とお客様とを結ぶ最前線にいるわけですから、大変重要な存在です。それを自覚して、チームワークにも気を配っていけば、良い仕事ができると思います。

川下流組織運営

会社組織で頭角を現す人は、なべて仕事熱心で自他に厳しい。川下さんも自らをそのように評し、「部下からも厳しい上司だと思われているはず」と語る。しかし川下さんの本質は、その対極の面にあるようだ。

川下 仕事は生半可なものではありません。苦勞が伴う分、「自分の仕事は社会のためになっている」と胸を張れることが大切だと思うのです。その自負の支えになるのが、厳しさと責任感でしょう。それから、目標は高く設定するべきです。高くすればするほど、そこに到達するためにクリアしなければならぬ課題や問題点がたくさん見つかりますから、ひとつずつ、着実に解決していく。それが仕事というものです。

私は、結構まともに部下を叱ってしまうほうなのですが、但し必ず、本人がこれは自分の成長のためなのだと納得できるように考え、その後の対話も欠かしません。皆で目標に向かうためには、温かく、思いやりのある職場でなければいけません。温かくなければコミュニケーション不全になる。すると課題が見えにくくなってしまいます。私はオフィスにいる短い時間を利用して、1日1回、冗談のひとつも言いながら皆に声をかけて歩くんです。それで職場の雰囲気を感じ取っていきます。

嬉しいのは、かつての部下で、仕事が思うように進まず、「辞め

たい」と申し出てきたことがある人たちが皆、「あの時引き止めていただいて、本当に良かった」と言ってくれることです。真剣になって、真心をぶつけて説得した結果、一時の感情に流されず、使命感を再認識して思いとどまってくれた彼らが、いま部長や課長になって、立派に仕事をしてくれている。有り難いです。

経済状況が厳しい昨今ですから、なおのことリーダーの真価が問われます。会社の現状をきちんと説明して、将来に向けて、いつまでに何をすべきなのか工程を示し、それを部下としっかり共有する。こういう時代だからこそ、目標を見据えてしっかり前を向いて歩けるように、皆の心意気を引き出し、上手くひとつにまとめていきたいものです。

大学と校友、お互いの成長を励みに

原子力発電所が当初期待されていたのは「エネルギーの安定供給」であったが、現在はそれに加えて「地球環境保全への寄与」、すなわち温暖化防止のための脱化石燃料志向と強く結びついたものとなった。東芝の会社としての目標も、社会の変容に応じて進化してきた。その実現のために、川下さんは今日も汗する。母校立命館の発展を、ひとつの励みとしながら。

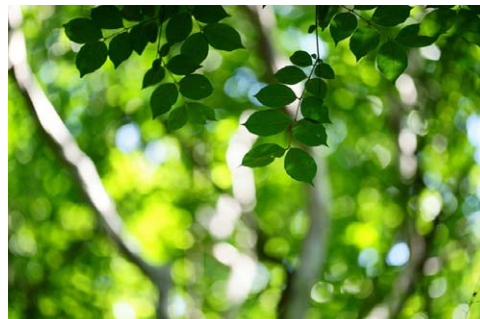
川下 当社は、「エコリーディングカンパニー」として、持続可能な社会づくりに貢献していこう、世の中が直面している問題を解決できる会社になろうと努力しています。私のもうひとつの課題は、関西支社といえども、グローバル化の進展の中で存在感を示し続けていくことです。

立命館も、いっそうの国際化を目指して努力されていますね。先日、文部科学省の「国際化拠点整備事業（グローバル30）」の採択拠点となったという嬉しいニュースを聞きました。我々の在学中のことを思えば、隔世の感があります。いま、「東芝立命会」の代表をしています。国際感覚豊かなメンバーや、APUを卒業して加わった後輩を見ると、とても頼もしい。これから世界の立命館大学として大きく羽ばたいていくのだと思うと、ぜひ一緒に頑張りたいと思いますね。大学と校友とが切磋琢磨しあって共に成長することができれば素晴らしいですね。

Shiro Kawashita



- 1949 年 大阪に生まれる
- 1968 年 立命館大学経済学部入学
- 1972 年 同 卒業
東京芝浦電気株式会社 入社
(1984 年 株式会社東芝に商号変更)
22 年間、原子力発電所プラントの営業に携わる
- 1994 年 中部支社 電力部長
- 1999 年 電力システム社 火力営業第二部長
- 2002 年 同 営業統括責任者
- 2003 年 関西支社 副支社長
- 2006 年 中部支社 支社長
- 2008 年 執行役常務 関西支社長
現在に至る



北海道

北海道校友会会長

ひろちよう あさお

広長 明夫 さん（'60理工）

2005年1月就任

学生生活を振り返ってみて、いかがでしょうか。

広長 ● 中学生の頃の修学旅行で訪れた京都のまちに惹かれ、そして学費が安かったことから、立命館を選びました。父が土木の仕事に就いていたこともあり、土木学科なら授業料を払ってくれるということで進学しました。

当初は洛星高校のグラウンド西側の下宿で生活し、ここで今でも付き合いのある大切な友人たちと出会いました。当時はみんな大食漢で、毎日ご飯茶碗8杯ほど食べていましたよ（笑）。3年生からはアパートで一人暮らしをはじめましたが、そこには下宿で一緒だった友人2人をはじめ、多くの同級生がいました。私は登山が好きで、4年間で120日ぐらいは山に



広長会長



おそろいのウェアを着たゴルフ会のメンバー

登っていたと思います。山には色々な思い出があります。

また、ある事柄について当時の末川博総長と2日間にわたって議論したこともありました。結果として説得されましたが、さすがに話し合ったことは忘れられません。その後の人生で大変役立つ、いい経験でした。

広長会長にとって校友会とは？

広長 ● 校友会と関わり始めてから40年が経ちますが、校友会は「人生のヒントを得た場所」という意味合いが強いです。卒業してすぐ、日高山脈の工事現場に配属されたのですが、冬期は外での作業ができず、仕事が不足する時期もありました。こうした時に、校友から本州での仕事を紹介してもらい、従業員の仕事が確保できたこともありました。単に立命館の卒業生というだけですが、そのつながりが持つ意味と可能性の大きさを実感しました。

校友会では価値観や業種が異なる、様々な人に会えます。この出会いをどう生かすかは当人次第ですが、私は参考になることが多々ありました。まったくの他人にもかかわらず、前向きな助言や支援をいただけるのは、利害関係のない「校友」という共通のキーワードがあるからこそだと思います。今の私があるのは、校友や出会った人のお陰です。

北海道校友会の特徴とこれからの抱負をお聞かせください。

広長 ● 昨年、若手校友に要望し、平成卒の集まりである「平成の会」を設立してもらいました。私の世代にはない発想の企画が提案、実施されています。こういった会を通じて年齢の



懇親会では世代を超えた交流が繰り返されている

差による価値観の違いを克服し、若い校友が継続的に参加できる仕組みを構築していきたいです。

また、1992年にスタートした「ゴルフの会」は「立同戦」を含む年6回の活動に加え、今年で10回目を迎える「関西六大学（関大、関学、同志社、京都、神戸、立命館）札幌OBゴルフ大会」など、活発な交流を展開しています。このほか、8月最終土曜日の「ビール会」や、毎月第3木曜日18時からの「木曜会」などの定例会も実施しており、こうした場で校友会活動につながるアイデアが生まれることも多いのです。

このように、北海道校友会は比較的活発だと思っていますが、大きな転換期を迎えているのも事実です。その中で、会長職に就く者として新しい感覚を持つ「若手のサポート」を大切にしたいです。会の発展に向けて、どんな事でも相談に乗らせていただきたいと思います。

北海道校友会は気軽に参加できる場所で、世代を超えた交流が繰り返られています。校友の皆さん、北海道においでの際はぜひ一度、木曜会やゴルフ会に参加してください（ゴルフ会は開催の半月ほど前までにご連絡をお願いします）。大歓迎です！

なお、イベントの詳細は北海道校友会のホームページ（<http://rits-do.net/>）をご覧ください。

北海道校友会

設立：1955年

会員数：3000名（2009年9月現在）

*道内在住の校友

総会時期：例年1月頃

総会参加者数：約85名



都 道 府 県
校 友 会 長 を
訪 ね て

新潟県

新潟県校友会会長

おの もりみち
小野 守通さん（'69 経営）
2007 年 6 月 就任



新潟県校友会では近年、総会の参加者が増えている



「立命」の浴衣を着て踊る学生時代の
小野会長（右端）

立命館に進学したきっかけと、 学生時代の生活について教えて下さい。

小野 ● 高校卒業後、一旦は就職しましたが退職し、その後、立命館に進学した高校時代の友人から「うちに来い、いい大学だぞ!」と誘われ、立命館を選びました。当時は周囲のほとんどが東京の大学に進学しており、京都へ行くのは少数派でしたが、「通っている本人が良いと言っているのだからいい大学なんだろう」と思ったのです。親父が国鉄（当時）職員で、“家族割引”で電車を利用できたので、京都からの帰省もそれほど大きな負担になりませんでした。学費が安かったことも選んだ理由のひとつです。

学生時代は経営学部の自治会の委員長を2年間務め、学生運動に力を注いでいました。おもしろい時代に大学生活を過ごしたと思っていますよ。現在、広告代理業を営んでいますが、学生時代にビラや看板を製作したことを思い出すこともあります。よくガリ版でビラなどを作ったなあ（笑）。また、徳島出身の友人がいて「阿波踊り」を踊りに夏休みに徳島まで行ったこともあります。立命館大学の連（踊り手の集団）があり、そのメンバーとともに「立命」とプリントされた浴衣を着て踊ったことは、いい思い出です。

小野会長と校友会のつながりについて 教えて下さい。

小野 ● 校友会に関わってから20数年になります。40代の頃、たまたま新聞の催し物案内で総会の案内を見つけ、行ってみようと思いました。参加者の中で私が最も若かったことに驚きましたが、一方で先輩方にかわいがられました。その後、大西淳前会長をはじめとした先輩方

から温かく迎えられたのをきっかけに、校友会に関わるようになりました。その時に「10数年前、末川博総長が新潟に来訪されたのを契機に、新潟県校友会が誕生し、その時には大勢で新潟駅までお迎えに上がった」というエピソードを聞いたことが今でも印象に残っています。

私が参加した頃、参加者は20名弱で、公務員や教員の人が大半でした。しかし、近年はマスコミや金融機関をはじめ、民間企業に勤める人の参加も増えています。新潟県校友会では、校友会を異業種交流と位置づけ、異業種や世代間の情報交換と交流の広がり力を入れています。校友会とは立命館で学んだことをベースにつなぎ、人生や仕事などの面でメリットがなければならぬと考えます。参加者のネットワークが広がり、若い世代は自分を発表する場に、そして先輩は若手の力になれるような校友会にしていきたいです。

新潟県校友会の3代目会長として、 将来像をどのように描かれていますか。

小野 ● 新潟県校友会は同志社校友会新潟県支部との交流を積極的に行っており、各周年記念の総会への招待や交流イベントの実施など、友好関係を深めています。同じ京都の大学で学んだ者同士、新潟県を盛り上げられるよう、絆を深めていきたいです。

また近年の総会では、マスコミや芸能活動などで求心力を持つ校友に校友会への参加を呼びかけており、その結果、参加者が約80名に増え、さらにゲスト校友の発表の場にもなるなど、相乗効果をもたらしています。

新潟県校友会の特徴は、幅広い世代の人が満遍なく参加しているところです。青年部や



小野会長

女性部に勢いがあり、積極的に関わる若い校友が増えている傾向もみられます。彼らが手を上げた時に、いかにサポートできるかが私の役割だと思います。新しい水を入れ、その勢いに乗って参加者を「100名」の大台に乗せたいですね。そして、その力を何か社会に貢献していければと思います。

新潟県校友会のホームページは<http://members.ecatv.home.ne.jp/rits-niigata/>

新潟県校友会

設立:1966年
会員数:1007名(2009年9月現在)
*県内在住、および県内勤務の校友
総会時期:例年6月頃
総会参加者数:約80名



校友会報からひとく

校友会の歩み

今年は校友会設立90周年です あと10年で“100歳”になります

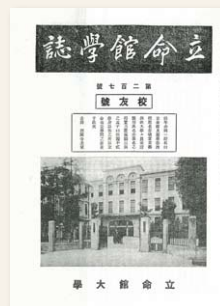
90th Anniversary

1919年
11月23日

立命館大学校友会誕生

1919年11月23日、「立命館大学創立20周年記念校友大会」が京都の料亭で開かれ、この大会によって「立命館大学校友会」の誕生となりました。これまでは京都や大阪、東京などで地域的な校友会、あるいは卒業生の活動が展開されていましたが、校友会本部は組織されておらず、この校友大会で全国規模の校友会が組織化されました。

当初は、大学昇格問題（当時、制度上は専門学校でした）や校友会支部設置などの議題が中心で、校友会の活動の成果もあって、1922年に母校が大学昇格を果たしました。昇格に向けて、後に初代会長となる畝川鎮夫幹事（当時）ら校友が中心となって供託金集めに奔走していました。



『立命館学誌』
第207号校友号



校友会報『立命』
創刊号

1949年
11月27日

校友会の再建

1945年からの数年間は、戦争の影響で、校友会活動は規模を縮小しながら行われていました。中でも「校友の再組織」や「校友住所の調査と通信連絡の再開」などの活動が中心でした。そして1949年11月27日、悲願の「立命館大学校友会再建全国大会」が、広小路学舎の存心館23号教室で開催されました。

この大会では小田美奇穂会長が就任したほか、戦後の再建の経過も報告されました。以降、翌年の「立命館創立50周年」を機に、校友会活動はいつそう活気づいていくのです。

立命館大学校友会歴代会長

初代会長	畝川 鎮夫氏	(1937-1942年)
第二代会長	小泉 烝氏	(1942-1944年)
(太平洋戦争のため一時中断)		
第三代会長	小田美奇穂氏	(1949-1961年)
第四代会長	北川 敏夫氏	(1961-1974年)
第五代会長	西村 光次氏	(1974-1979年)
第六代会長	桐山 治一氏	(1979-1983年)
第七代会長	川勝 傳氏	(1983年-1988年)
第八代会長	廣 慶太郎氏	(1988年-1996年)
第九代会長	河原 四郎氏	(1996年-2004年)
第十代会長	山中 諄氏	(2004年-現在)

1952年
6月28日

校友会報『立命』創刊

創刊号では、当時の小田会長や末川博名誉総長から、校友会報への期待を込めたメッセージが綴られています。創刊時は漢字で『立命』の題字で、1973年の第34号からひらがなで『りつめい』に改題されました。これらはいずれも、末川名誉総長による題字で、現在に受け継がれています。校友会報は今年で発刊57年目を迎えました。

戦前で校友向けに刊行された冊子では、学園が出版していた『立命館学誌』の203号（1937年10月）と207号（1938年3月）が「校友号」として発行されていたことが確認されています。当時の誌面では就職難だった背景を受け、校友会が学生の就職活動をサポートする内容を中心に掲載されていました。

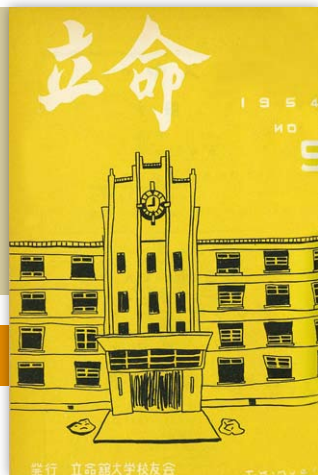
また、戦後は『立命館学園新聞』の校友特集号（No.1〈発行年不明〉～No.29〈1968年〉）や、1969年～1972年に発刊された『立命館大学校友会ニュース』といった冊子も刊行されていました。

参考文献：『立命館百年史』通史一
『立命館百年史』通史二
校友会報『立命』創刊号

1919年11月23日に立命館大学校友会が設立され、今年で90周年を迎えます。そこで、節目の100周年を前に随時、校友会報をひもときながら、これまでの校友会について振り返ってみます。

校友会報の歴史は57年、通算238号の発行です。このコーナーでは過去の校友会報から主な号を選定し、その中に記されたエピソードについて紹介していきます。

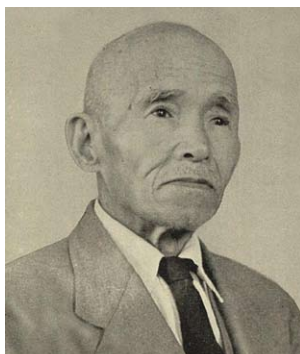
今号では、校友会報創刊までの大きな出来事についてふれるとともに、校友会報から“思い出の号”として厳選した「第9号」の逸話を紹介します。



校友会報『立命』第9号 1954年10月発行

大学昇格の功労者 畝川鎮夫校友会初代会長の特集

この年に亡くなられた、校友会の初代会長である畝川鎮夫氏（享年75歳）の「追悼特集」が誌面の主な内容でした。54ページ綴りの中で、追悼特集が6割を占めています。この特集では校友会関係者や学園関係者、そして友人ら計18名による追悼の意を表した寄稿が掲載されています。



畝川初代会長

主な寄稿者の表題は、畝川氏のご子息で校友の畝川利雄氏の「頑固ななかにも思い遣りのあった父」、小田美奇穂会長（当時）の「嗚呼まさに痛恨事」、末川博総長（同）の「畝川老をいたみ惜しむ」、北川敏夫理事長（同）の「大学昇格に奔走」などです。

では、畝川氏はどういった人だったのでしょうか。掲載されている文章からまとめてみました。

岡山県出身の畝川氏は立命館大学の前身である、京都法政専門学校が京都法政大学になった直後の卒業生で、学生時代は酒屋の樽拾い、新聞配達、人力車引きなど数多くのアルバイトをしながら通学していた、いわゆる苦学生でした。趣味は囲碁だったようです。

卒業後は人一倍の母校愛を持ち、立命館の発展を生きがいの

一つとしていました。それを象徴するエピソードが「大学昇格」に向けた活動です。昇格に向けて活動した校友の中心的存在で、創立者・中川小十郎館長を説得したほか、1919年の「全国校友大会」の開催にも力を注ぎ、供託金の募金活動にも懸命でした。こうした活動が実り、立命館は1922年に大学昇格を果たしたのです。これ以降も寄付金の募集に向けた様々な企画を提唱していました。

1937年に校友会の初代会長に就任し、1942年までその職に就いていました。また、学園の顧問も務め、「立命館発展の功労者の一人」と記されています。さらに『立命館創立五十年史』（1953年発行）の編纂委員会の代表として、編集作業に勤めました。

周囲からは親しみを込めて「畝川老」と呼ばれたほか、自身の信念を遂行するにあたって他を顧慮しない率直さから「大久保彦左衛門」というニックネームが付けられていました。母校に対する進言の時には、他の校友がしり込みする中で、進言役を買って出ていたというエピソードも残っています。

また、寄稿では「母校の発展に寄与することに人生の生きがいを見出しておられた」「母校のこととなると何を棄てても駆けつけて世話を焼く熱心な人」などと称されており、その人柄が自ずと想像されます。

この号では追悼特集のほか、投書記事や俳句のページ、会議報告、各校友会からの活動報告に加え、「第1回近畿地区大学体育大会」の成績なども掲載されています。

第9号の編集後記

母校や校友会発展のために生涯を捧げつくされた故畝川鎮夫氏に対し、広く校友諸兄とともにささやかながら追悼の意を表したいと念じて本号を「追悼特集」としました。校友大会に是非とも間にあわせたいと努力しましたが出来上ってみると、いつものことながら不十分な点が目について遺憾に思っています。本号から表紙を替えて、新しく立命のシンボルとなった時計塔を加えてみました。かつて諸兄が朝夕親しまれた存心館正面も改装となって全く面目を一新しました。母校の発展とともに雑誌「立命」もますます内容を深めて行きたいと編集委員一同念願しております。校友諸兄の叱正を期待しております。

都道府県校友会ほか

- ◆ 6/20 新潟県校友会総会
(86名・万代シルバーホテル)
- ◆ 6/27 福島県校友会15周年記念総会
(35名・ホテルハマツ)
- ◆ 6/27 山梨県校友会総会
(38名・古名屋ホテル)
- ◆ 7/3 大阪校友会年次大会
(600名・スイスホテル南海大阪)
- ◆ 7/4 高知県校友会総会
(46名・ホテル城西館)
- ◆ 7/11 神奈川県校友会総会
(83名・崎陽軒本店)
- ◆ 7/11 岐阜県校友会総会
(135名・岐阜都ホテル)
- ◆ 7/11 香川県校友会総会
(150名・喜代美山荘花樹海)
- ◆ 7/12 岩手県校友会総会
(19名・ホテル東日本盛岡)
- ◆ 7/12 滋賀県校友会総会
(55名・ボストンプラザ草津)
- ◆ 7/20 秋田県校友会総会
(20名・ホテルメトロポリタン秋田)
- ◆ 7/25 青森県校友会総会
(19名・ウェディングプラザアラスカ)
- ◆ 7/25 宮城県校友会総会
(30名・勝山館)
- ◆ 7/25 徳島県校友会総会
(53名・阿波観光ホテル)
- ◆ 7/25 愛媛県校友会総会
(56名・松山全日空ホテル)
- ◆ 7/26 岡山県校友会総会
(154名・アークホテル岡山)
- ◆ 8/29 熊本県校友会総会(第50回)
(64名・熊本全日空ホテルニュースカイ)
- ◆ 8/29 沖縄県校友会総会
(35名・ホテルロイヤルオリオン)
- ◆ 9/5 広島県校友会総会
(160名・リーガロイヤルホテル広島)



福島県校友会15周年記念総会



山梨県校友会総会



高知県校友会総会



神奈川県校友会総会



岐阜県校友会総会



香川県校友会総会



岩手県校友会総会



秋田県校友会総会



宮城県校友会総会

地域校友会

- ◆ 6/6 英国校友会親睦会
(12名・パブOLD THAMESIDE INN)
- ◆ 6/13 広島県東広島地区校友会総会
(25名・大広苑)
- ◆ 6/14 天理わだつみ会総会
(40名・ウェルカムハウス・コトブキ)
- ◆ 6/20 長野県校友会上伊那地区会総会
(15名・JA上伊那本所)
- ◆ 7/3 シドニー校友会設立記念会合
(5名・鮎雅 SUSHI MASA)
- ◆ 7/4 山口周南地区校友会総会
(30名・ホテルサンルート徳山)
- ◆ 7/5 八幡支部「えんじの会」総会
(33名・松花堂資料室)
- ◆ 7/18 愛媛県校友会東周支部総会
(15名・岩城)
- ◆ 8/25 ニューヨーク校友会総会
(20名・うどんウエスト)
- ◆ 8/29 長野県校友会東信ブロック総会
(20名・小諸グランドキャッスルホテル)



英国校友会親睦会



広島県東広島地区校友会総会



長野県校友会上伊那地区会総会



八幡支部「えんじの会」総会

職域校友会

- ◆ 7/15 池田銀行比叡会総会
(30名・ホテルアイボリー)
- ◆ 7/25 立命館公認会計士校友会設立総会
(80名・朱雀キャンパス)
- ◆ 8/29 立命館学園会計人会総会
(40名・京都ホテルオークラ)



池田銀行比叡会総会



立命館公認会計士校友会設立総会

学部・学科校友会

- ◆ 6/27 国際関係学部校友会総会
(100名・サピアタワー)
- ◆ 6/28 経営学部校友会総会・講演会
(80名・ホテルグランヴィア京都)
- ◆ 7/3 関東建設会総会
(30名・大手町サンケイプラザ)



関東建設会総会

- ◆ 7/4 塩田ゼミOB会
(30名・京都ホテルオークラ)
- ◆ 7/19 RIMO総会
(17名・アカデメイア@大阪)
- ◆ 7/31 建設会滋賀県支部総会
(35名・琵琶湖ホテル)
- ◆ 8/1 法学部同窓会総会
(130名・リーガロイヤルホテル京都)



塩田ゼミOB会

サークルOB・OG会

- ◆ 6/13 経営研究会同窓会総会
(35名・グランドプリンスホテル京都)
- ◆ 6/14 能楽部創部80周年記念大会
(京都観世会館・ウェスティン都ホテル京都)
- ◆ 8/8 憲法研究会OB会総会
(15名・花伝)

その他の会

- ◆ 6/6 杉野園明ゼミ二部経済学部
91年度卒同窓会
(10名・衣笠キャンパス志学館121教室)

- ◆ 6/11・12 英米文学昭和37年卒同期会
(15名・春日野荘)
- ◆ 6/13 関東新人歓迎会
(150名・有明パナソニックセンター)
- ◆ 6/13 愛知県校友会
新校友歓迎企画新歓イベント
(90名・PLUS PARK)
- ◆ 6/13 北九州校友会
ウェルカムパーティー 2009
(50名・トラベルカフェステーションホテル小倉店)
- ◆ 6/13 関西新校友歓迎会 2009
(150名・スイスホテル南海大阪)
- ◆ 6/20 ウリ同窓会総会
(60名・ホテルセントノーム京都)
- ◆ 6/27 北海道新人歓迎会
(32名・キャリアバンクセミナールーム)
- ◆ 7/18 清和会総会
(360名・ウェスティン都ホテル京都)
- ◆ 7/18 S59年卒産業社会学部川口ゼミ同窓会
(7名・厚凜)



関東新人歓迎会



愛知県校友会新歓イベント



北九州校友会 ウェルカムパーティー 2009



ウリ同窓会総会



北海道新人歓迎会

広島で茶道研究部の夏季茶会を開催

「第54回立命館大学茶道研究部夏季茶会」が8月23日(日)に広島市の「安国寺不動院」にて開催されました。今回は初めて立命館アジア太平洋大学APU茶道部と合同で実施。両校の部員が日頃精進してきたお点前を披露しました。会の運営などで広島県校友会、並びに広島県東部校友会がご協力され、落ち着いた蒼翠の境内で約240名の参加者が茶の湯を楽しんでいました。



イエール大学同窓会との交流プログラムを開催

7月4日(土)に立命館大学校友会、立命館大学、APUと米国・イエール大学同窓会との交流プログラムが行われました。イエール大学は海外の主要大学との意見交換に積極的で、今回は日本の計6大学を訪問。同窓会役員や全米各地のイエール・クラブの会長ら49名が来日し、衣笠キャンパス見学や、京料理を楽しみながら同窓会活動に関する情報交換などの交流を繰り広げました。



来年6月6日に「立命館大学ホームカミングデー」が開催されます!

「立命館大学ホームカミングデー ～立命館創始140年・学園創立110周年記念～」が2010年6月6日(日)に衣笠キャンパスとびわこ・くさつキャンパス(BKC)の2会場で開催されます。ホームカミングデーは、校友が母校のキャンパスに帰り、大学との相互作用の構築を目的にした催しで、現在、校友と学生の交流企画や、各学部・研究科の同窓会企画など、皆さまに喜んでいただけるような企画を考案中です。

詳細につきましては、次号以降の校友会報「りつめい」にて掲載する予定です。皆さま、ご期待ください。



立命館大学ホームカミングデー ～立命館創始140年・学園創立110周年記念～

開催日 2010年6月6日(日)

会場 衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)



立命館大学の各キャンパスに「校友サロン」を設けました

「懐かしいキャンパスを久しぶりに訪ねて、ちょっと一息。」

そんな時には、このほど各キャンパスに設定いたしました「校友サロン」へどうぞ。

校友のお仲間同士やご家族で母校へお越しの際の、待ち合わせや、おくつろぎの場として、ぜひご利用下さい。



衣笠キャンパス

国際平和ミュージアムロビー（1階および2階）

- 火～日曜日 9:30～16:30
（休館：月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか）
- 2階ロビーにお茶の自販機設置（1階ロビーでの飲食はご遠慮下さい。）
- 国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご見学いただけます。
ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出下さい。
無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
- <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/>



国際平和ミュージアム外観



1階ロビー

びわこ・くさつキャンパス (BKC)

コアステーション3階ラウンジ

- 月～土曜日 9:00～20:00
（休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間）
- コーヒー等の自販機設置
- ご利用の際は、コアステーション1階キャンパス事務課へお越し下さい。
（執務時間：月～金曜日 9:00～17:30、一次対応）



コアステーション外観



3階ラウンジ

朱雀キャンパス

〈既設・校友会事務局所在地〉
6階校友ロビー

- 月～金曜日 9:00～17:30
（休室：土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間）
- 1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけ下さい。
- 校友会事務局にて接遇いたします。コーヒー自販機設置。



朱雀キャンパス外観



6階校友ロビー

お知らせとお願い

- いずれも事前申込は不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承下さい。
- 衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではございませんことを何卒ご理解下さい。
- 各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません（おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております）。
- 夏期および年末年始の休室期間のお問合せ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡下さい。
- アクセスマップ http://www.ritsumeai.jp/accessmap/index_j.html

立命館大学校友会事務局（校友・父母課）

Tel: 075-813-8216

E-mail: alumni@st.ritsumeai.ac.jp

「立命館 思い出の場所はいま…」に関するアンケート

皆さまが通っていた立命館のキャンパス周辺は今、どうなっているのでしょうか。校友会広報委員会では、当時に通っていた食堂や遊び場、下宿など、皆さまから掲載ご希望の母校周辺の情報を募り、誌面の中で取り上げる企画「立命館 思い出の場所はいま…」をスタートします。皆さまからの情報に基づいて広小路、衣笠、びわこ・くさつの、各キャンパス周辺の“いまの姿”をお届けします。情報のご提供方法につきましては、以下のいずれかでお願いします。

- ① 下記1～3の項目を記入し、ご覧のページを切り取ってFAXにて送信
- ② 下記1～3の項目を別の用紙に記入してFAXにて送信
- ③ 下記1～3の項目について入力し、電子メールにて送信
(メールの表題を「立命館 思い出の場所はいま…」としてください)



併せて、皆さまがお持ちの思い出写真のご提供も承っています。その場合は事前にお電話にてご連絡をお願いします。
この企画は今後、連載していく予定ですが、校友の皆さまからの情報提供に基づくページです。そのため、随時の掲載となりますことをご了承ください。
また、お送りいただいた情報の掲載の採否は広報委員会にて決定します。採用が決まりました方には、こちらからご連絡させていただきます。皆さまからの情報をお待ちしています。



立命館大学校友会 広報委員会 宛

1. 誌面への掲載を希望する場所を教えてください。

「○△キャンパスの、□×辺りに位置する、○○」といった具合に、具体的にご記入ください。

例) 衣笠キャンパス西側にあった喫茶店「ノンノ」

2. その場所に関するエピソードをご記入ください。

例) 学生時代、現在の夫と交際中に通い詰めた喫茶店、△△部メンバーのたまり場であった店

3. 卒業年、卒業学部、通っていたキャンパス、お名前、電話番号(ご連絡用。携帯可)、お持ちであればメールアドレスをご記入ください。

卒業年	卒業学部	通っていたキャンパス
お名前		電話番号
メールアドレス		

※ 掲載希望の写真がある方はお電話にてご連絡をお願いします。

TEL:075-813-8216 FAX:075-813-8217
メール: alumni@st.ritsumei.ac.jp

環境、エネルギー、医療 —21世紀の課題解決に挑戦する

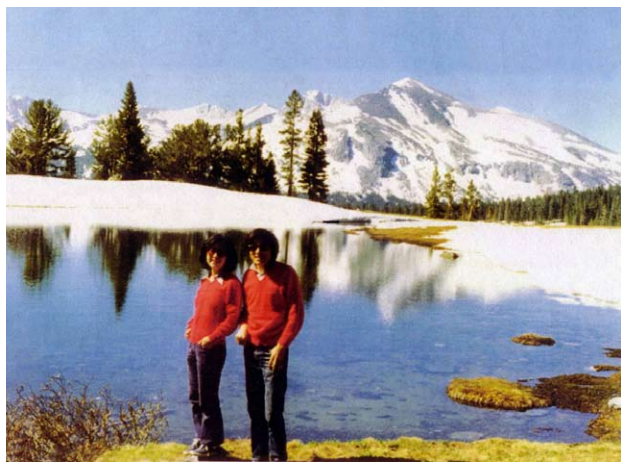
文理融合の先端研究拠点R-GIROを設立

村上 正紀 副総長

立命館大学では、持続可能な社会をつくることをめざし、21世紀の緊急課題の解決に取り組む研究拠点「立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)」を設立しました。陣頭指揮をとるのは村上正紀副総長。今回は、研究への思いや立命館大学の今後についてお聞きしました。

アメリカのカリフォルニア大学、IBM T.J.ワトソン研究所と、海外、民間企業で長くキャリアを積んでこられましたね。

私が京都大学で博士号を取得した1970年代初頭、日本には研究職の仕事がほとんどなく、活路を求めて渡米しました。カリフォルニア大学ロスアンゼルス校では、それまで数十年近く実証されていなかった三元系の拡散機構の解明に取り組みました。当初は研究環境も研究費も整っていない状況。真空蒸着装置をはじめ実験に必要な装置も自分で手作りして研究を進めました。課題を解明するまでの2年間は、研究が思うように進まない苛立ちと、「成果を出さなければ後がない」という不安とで、気の休まる暇ありません。ほとんど年中無休で研究に没頭したものでした。



アメリカ・カリフォルニア大学時代の村上副総長

ずいぶん過酷な研究生活だったのですね。

最初に変な思いをしたおかげで、後はどんなに厳しい状況に置かれても平気でしたよ。1975年に百倍近い倍率をくぐり抜けてIBM T.J.ワトソン研究所に入社しましたが、その後も求められる課題を解決しなければすぐに職を失うという厳しい環境でした。その中で化合物半導体への電流注入モデルを構築するなどの成果をあげ、16年にわたって勤めました。

アメリカでの研究生活を通して、目標を設定して決められた期限内に達成することや、誰も解き明かしていない新しい課題に挑戦することなど、研究者としてのあり方を身をもって学びました。

帰国後は母校で教鞭をとられ、2007年に本学へ。
今、大学での研究の意義について
どうお考えですか。

大学での研究は、目先の利益や目的にかなうばかりではなく、50年先を見据え、将来の社会に役立つものでなくてはならないと考えています。20世紀、科学技術の革新によって、人は物質的な豊かさを手にしました。しかし成長の一方で、「影」の部分が残ったことも否めません。先進国の一部の人々だけが快適な生活を楽しむ陰で、地球温暖化、資源の枯渇、食糧不足といった問題が深刻化し、さらには貧富や教育の格差、宗教戦争、心の空洞化といった問題にも波及しています。21世紀

はこうした「負の遺産」を清算し、「持続可能な社会」をつくらなくてはならない。大学の研究者も一丸となってこの困難な課題に挑み、成果を社会に発信し、社会貢献する必要があるのです。

R-GIROには、そのための基盤があるのですね。

立命館大学には、非常に優秀な研究者が数多く集結しています。こうした「知」を束ね、21世紀の課題を研究する先端的な拠点として設立されたのが、R-GIROです。

具体的には、昨年度から自然科学系が中心となり、21世紀の緊急課題として「環境」「エネルギー」「材料・資源」「医療・健康」「食料」「安全・安心」という6つの領域をテーマに掲げ、多数のプロジェクト研究に取り組んでいます。本年度からは、本学の特長である、文理融合の環境が整っている利点を生かし、多様な領域の研究者が共に研究する拠点を全学のご協力で始めました。私たちのような自然科学系の研究者だけでなく、人文・社会科学系の研究者とも力を合わせ、これまでにない真の意味での文理融合を試みています。科学技術の研究においても、倫理や文化、歴史から学ばなければなりません。

R-GIROの特長は、どんなところでしょうか。

一つ目は、川口総長を機構長とした大学独自の予算措置による分野横断型の研究拠点を全学組織で形成した点であり、全国でも例の無い取組みと思います。二つ目は、人材育成に力点を置いていることです。若手研



究者に研究のチャンスを提供することはもちろんですが、それだけにとどまりません。立命館の一貫教育のメリットを生かし、小学校から理数系教育に寄与することにも力を注ぎます。これから将来にわたって私たちの志を受け継ぎ、科学技術の発展を担う人材の育成にも力を入れています。

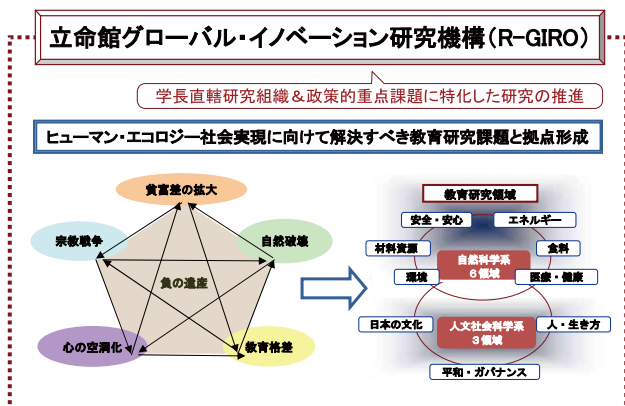
将来的には、世界中の優秀な研究者が「R-GIROで研究したい」と集まって来るような研究拠点に育てたいですね。

楽しみです。

最後に、休日の楽しみをきかせてください。

カリフォルニア大学、IBM時代、美しい自然に囲まれた場所で過ごしました。そのせいか今でも自然の中を散策するのが好きですね。休みができると決まって家内の里である飛騨高山に出かけます。もう一つの楽しみは、ゴルフです。緑の中をのんびり歩きながら体を動かすことも好きですが、ゴルフの最も良い点は、仲間ができること。異なる分野の研究者や他の業界の人など、ふだん巡り合えない人とも知り合い、人脈が広がるのが魅力ですね。

聞き手・編集 立命館広報課



大病根治に向け、 タンパク質のルール解明をめざす

薬学部 加藤 稔 教授

古くから知られる難病の多くが、タンパク質の構造異常が原因であることがわかってきたのはごく最近（90年代後半）である。例えば、アルツハイマー病やパーキンソン病といった神経変性疾患は、よく耳にするのではないだろうか。タンパク質構造形成のルール（原理）の謎は深く、こうした疾病は現状、根治治療法がない。加藤教授は大病根治のカギを握るタンパク質のルール解明に挑んでいる。

タンパク質のフォールディングの失敗が病気の原因

「タンパク質は20種類のアミノ酸がペプチド結合で1本につながった高分子です。アミノ酸の組み合わせは、理論上無限にあります。人間は数万から10万種類のタンパク質を持っているといわれています。それらが、それぞれ、酵素、組織構造、筋肉、抗体、情報伝達体、栄養保存など様々な生体機能を担っています。細胞の中でタンパク質が誕生する時、長い鎖を自ら折り畳み、固有の立体構造を形成し、機能を発現させます」

この折り畳みを「フォールディング」という。通常の健全な生命活動を行うタンパク質は、この状態を維持している。ところが、ごく稀にフォールディングを失敗（ミスフォールディング）することがある。その失敗具合はというと、例えば私たちが折り紙の折り方を間違えるようなもの。この間違いが、冒頭に挙げたような疾病、いわゆる「フォールディング病」を引き起こすのだ。加藤教授のチームは、フォールディングに焦点を当て、そのルールやミスフォールディングが起こる要因などの解明に向けて研究している。

物理化学の観点からタンパク質化学を研究

研究室名は「生体物理化学研究室」。研究テーマは「タンパク質科学（構造・機能・設計）」と「水と水溶液の物理化学」だ。加藤教授は学生・大学院生（13名）、研究員（3名）を含む計16名を率いる。08年度からスタッフとして茶谷絵理助教が加わったことで、研究室はさらに活気づく。水中に存在するタンパク質は水・水溶液の「物理法則」に逆らうことなく、むしろ巧妙に利用しており、その特性に着目した研究に取り組んでいる。大学で物理学を、大学院では応用化学を専攻していた加藤教授ならではの「物理化学の観点からみたタンパク質科学」の研究が特徴だ。

また、21世紀の緊急課題の解決に向けた機構「R-GIRO」（立命館グローバル・イノベーション研究機構^{*1}）の医療・健康領域研究拠点である「医科学・薬科学分野」の「タンパク質のフォールディングおよびフォールディング病発症機構の解明のための統合研究」プロジェクトのリーダーを務める。



薬学部教授
立命館大学グローバル・イノベーション研究機構
（R-GIRO）医療・健康領域研究拠点の
プロジェクトリーダー

PROFILE

1962年 愛知県生まれ
1980年 立命館大学理工学部数学物理学科入学
1984年 同 卒業
立命館大学理工学研究科修士課程応用化学専攻入学
1987年 同 修了
立命館大学理工学研究科博士課程後期課程応用化学専攻入学
1991年 同 修了
理化学研究所、基礎科学特別研究員
1994年 立命館大学理工学部助手
1995年 立命館大学理工学部専任講師
1997年～1998年 ラトガース大学客員助教授
1999年 立命館大学理工学部助教授
2004年 立命館大学理工学部教授
2008年 立命館大学薬学部教授
R-GIRO 医療・健康領域研究拠点「タンパク質の
フォールディングおよびフォールディング病発症機構
の解明のための統合研究」のプロジェクトリーダー
現在に至る
日本生物物理学会、日本高圧力学会、日本薬学会、日本
化学会、日本分光学会に所属

^{*}1 深刻化する21世紀の重点的課題に対し、立命館大学全体で組織的に研究推進するため、2008年4月に設立された新たな組織

学生スポーツ & イベント

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

柔道部

男子第59回・女子第17回 関西学生柔道優勝大会

(6月6日 兵庫県立武道館)

▶ 男子 3位入賞

▶ 女子 全勝優勝 (2年連続3度目)



立命館慶祥高等学校野球部

第48回春季全道高校野球大会 初の全道大会制覇!!

(5月31日～6月6日 札幌円山球場)

6月6日に開催された決勝戦では、立命館慶祥高等学校が北照高等学校を7-2で破り、全道大会制覇を果たした。

初の全道大会決勝進出とあり、スタンドには約1,500名の生徒たちが声援を送った。試合後、横山蔵人監督は「赤の新ユニフォーム同様に熱く戦ってくれた」と選手を激励した。



アメリカンフットボール部

立命館大学パンサーズとパナソニック 電インパルスが交流試合を開催

(6月7日 BKCクインスタジアム)

交流試合では、ハーフタイムに立命館大学応援団チアリーダー部と立命館小学校アフタースクールのチアSpirits☆の受講生と一緒に演技を披露し、会場を盛り上げた。

パンサーズ主将の相馬明宣選手(経済4)は、「去年のチームは日本一になったが、その驕りをなくして、も

う一度全力で日本一を目指したい」と力強く語った。



バドミントン部

関西学生バドミントン選手権大会

(6月8日～23日 大阪・舞洲スポーツセンターなど)

▶ 男子シングルス

優勝 川下剛士(産社3)

準優勝 安田敬之(産社4)

▶ 女子シングルス

優勝 北吉穂香(産社3)

準優勝 土井杏奈(産社2)

▶ 男子ダブルス

3位 川下剛士(産社3)

樋口龍太(国関3)

▶ 女子ダブルス

優勝 土井杏奈(産社2)

小口晃佳(産社2)

準優勝 北吉穂香(産社3)

大谷 瞳(文3)



ホッケー部 (男子)

第28回全日本大学ホッケー王座決定戦

(6月25日～28日 岐阜県グリーンスタジアム)

▶ 優勝 (6年ぶり2回目)

決勝戦では、早稲田大学に6-1で快勝し、6年ぶりとなる2度目の優勝を飾った。



弓道部

第57回全日本学生選手権

(8月10日～12日 日本ガイシホール)

▶ 女子団体 初優勝・射道優秀賞 受賞

今大会の優勝で、弓道部女子部は、11月に伊勢神宮で開催される全日本女子王座決定戦への出場権も獲得した。



自転車競技部

第50回全日本学生選手権自転車競技大会

(7月4日～5日 山梨県境川自転車競技場)

▶ 優勝 石口慶多(政策3)



石口選手は予選、準々決勝、準決勝と着実に勝ち上がり、決勝でも頭脳的な走りで、見事優勝を勝ち取った。50回の歴史を誇る同大会において、本学の優勝は初となる快挙である。

陸上競技部

第62回西日本学生対校陸上競技選手権 男子・女子ともに優勝!!

(7月10日～12日 香川県丸亀競技場)

男子陸上競技部は21種目中、1,500メートルの優勝など14種目で入賞し、5月の関西学生陸上競技選手権に続いて2冠、女子は20種目中、10,000メートルや100メートルハードルの優勝など12種目で入賞し、関西学生陸上競技選手権2位の雪辱を果たし、男子は61年ぶり、女子は初の栄冠に輝いた。



カヌー部

第45回全日本学生カヌー選手権大会

(8月29日～9月2日 石川県・木場潟カヌー競技場)

▶ 総合優勝

▶ カヤック部門 優勝

▶ カナディアン部門 3位

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

囲碁研究部

春季関西リーグ戦

(6月6日・7日・14日 アルプス江坂囲碁センター)

▶優勝 (7戦全勝)

将棋研究会

関西春期一軍戦

(6月7日・14日 同志社大学新町校舎)

▶優勝 (4勝1敗)

毎日杯第5回全国大学対抗将棋大会

(8月4日～6日 毎日ホール)

▶優勝 (8勝1敗)

能楽部

創部80周年記念大会開催

(6月14日 京都観世会館)

本学能楽部は、学芸総部で最も歴史あるクラブであり、輩出したOB・OGは800名を超えている。当日は、現役部員による連吟にはじまり、OB・OGが演じる仕舞、舞囃子が次々と披露された。本学能楽部を長年にわたり指導していただいている青木道喜先生の父・祥二郎先生が創作した新作品「犀龍小太郎」は、立ち見ができるほどの盛況ぶり、力のこもった演技に大きな拍手が送られ、現役部員、OB・OGが一体となった記念能楽会となった。

かるた会

第16回全日本大学かるた選手権大会

(8月8日～9日 近江神宮勸学館)

▶団体の部 優勝
▶大学代表の部 優勝 川崎文義(文3)
▶個人の部
2回生の部 優勝 楠木早紀(産社2)
2位 馬場 啓(法2)
3位 本多末佳(産社2)
3・4回生の部 優勝 高間光平(産社4)

第92回全国職域学生かるた大会

(8月30日 江戸川区スポーツセンター)

▶団体戦 優勝

交響楽団

第101回定期演奏会開催

(6月19日 京都コンサートホール・大ホール)

第101回定期演奏会は、1,135名もの観客を集

め、大盛況となった。今回は客演指揮者として金聖響氏を11年ぶりにお招きし、ピリオド奏法という難しい演奏に挑戦し、観客を大いに魅了した。

バトントワリング部

第5回WBTFインターナショナルカップ

(8月6日～9日 オーストラリア・シドニー)

▶バトンチームA 優勝
▶バトンチームB 3位
▶スリーバトン アダルト・エリートレベル 2位
渡辺翔史(文4)

応援団吹奏楽部

第59回関西吹奏楽コンクール

(8月23日 尼崎市総合文化センター)

▶金賞受賞(3年ぶりの全国大会出場決定)

大曲を見事に演奏した吹奏楽部は、近畿大学とともに全国大会への出場権を獲得した。第57回全日本吹奏楽コンクールは、10月17日名古屋国際会議場で開催される。悲願の金賞受賞に向けて、さらなる活躍が期待される。

古美術研究会

「楽洛企画」地下鉄東西線車両内で「地下鉄車両企画」を実施

古美術研究会は京都市交通局の共催で8月22日(土)～8月25日(火)の間、地下鉄東西線車両内に京都市内各文化財の地下鉄最寄り駅や、6月に行ったウォークラリー「楽洛 地下鉄でGO! 東西線でGO!」で訪れた寺社・城郭の文化財を紹介するクイズ形式のポスターの掲示を行った。

運行している車両内で地下鉄東西線沿線の文化財の案内が、クイズ形式での文化財紹介をすることで、文化財の魅力を再認識してもらうとともに親しみを持って文化財に触れてもらえる大変良い機会となった。



茶道研究部

立命館大学茶道研究部 立命館アジア太平洋大学APU茶道部 2009年度夏季広島茶会合同開催

(8月23日 真言宗別格本山安国寺不動院)

本席は立命館大学茶道研究部の表千家が取り仕切り、副席は立命館アジア太平洋大学APU茶道部裏千家が中心となって行われた。広島市内で開催し

た初の合同茶会は、約250名の地域の方が訪れ、大成功となった。

情報理工学部プロジェクト団体

「ロボカップシミュレーションリーグ部門 Ri-one」 Robo Cup 2009グラーツ世界大会

(6月29日～7月5日 オーストリア・グラーツ STADTHLEE GRAZ)

▶Rescue Simulation部門 第7位入賞

Ri-oneとして世界大会のベスト8に入ったのは、2006年のドイツ・プレーメン大会以来の記録である。競技マップによっては1位の成績を出すこともでき、次年度への手ごたえを感じることができる試合だった。



立命館小学校

ロボット五輪「WRO Japan 2009」 第6回日本大会決勝

(8月23日 科学技術館)

▶小学校部門競技部門

立命館小学校6年生チーム

「立命館+R KFTキッズ」優勝
世界大会へ出場決定!

WROは自律型ロボットによるコンテストであり、世界中の子どもたちが、各々ロボットを製作しプログラムにより自動制御する技術を競う大会である。

「立命館+R KFTキッズ」チームは、今年11月7日(土)、8日(日)に韓国・浦項市で開催される世界大会に日本代表として出場が決定した。

小学生が体験! 「立命の家 2009 ～この夏、新発見!～」開催

(8月19日・20日 びわこ・くさつキャンパス)

「立命の家」は、学術系団体が実行委員となり、キャンパス近隣の小学生を対象に「自ら学ぶ楽しさ」を知ってもらうための体験学習の機会を提供している。今年は実際に手を動かして道具を使って1つのものを完成させるプログラムや、パソコンで動画を作成したり、コンピューターの人工知能とサッカーシミュレーションゲームで対戦するプログラムなどがあり、参加した約50名の小学生たちは積極的に取り組み学びの魅力を感じていた。



文部科学省「国際化拠点整備事業 (グローバル30)」に採択

立命館大学は、留学生の受け入れや英語による授業の拡大など国際大学にふさわしい環境を整備する文部科学省「国際化拠点整備事業(グローバル30)」に採択されました(採択は全13大学)。

文部科学省「国際化拠点整備事業(グローバル30)」は、政府による「経済財政改革の基本方針(骨太の方針)2008」「留学生30万人計画」を受け、本年度から始まるプログラムです。留学生と日本の学生が一緒に学ぶことで、世界で活躍する人材を育てるのが狙いとなります。計画は2009度から5年間で予定されています。

立命館は、既に1980年代から「国際社会で活躍する人材の育成」を目指し、国際関係学部の新設(1988年)や我が国初の国際大学として立命館アジア太平洋大学(APU)の創設(2000年)、海外留学プログラムの充実など時代を先取りする様々な取り組みを行ってまいりました。

このような到達点を受け、今次の立命館大学の計画は、立命館アジア太平洋大学(APU)の経験と実績を最大限活かして、英語のみで学位取得可能なコースの新設など大学教育の国際化を更に進めるとともに、海外拠点の活動を活発化することによって、2020年までに現在の3.6倍の4,000名超の留学生を受け入れるものです。

採択された大学

私立大学

立命館大学、慶応義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学

国立大学

東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学



日本プロ野球選手会と 包括協定を締結

学校法人立命館は、日本プロ野球選手会と野球・スポーツを通じた社会貢献に向けて包括協定を締結しました。日本プロ野球選手会と大学との包括協定は初めてとなります。

日本プロ野球選手会は、プロ野球12球団所属の全日本人選手で組織されています。野球とスポーツの振興や社会貢献活動に取り組んでいます。

この包括協定の具体化として、12月6日(日)、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)において「ベースボールクリスマス in びわこ・くさつ」を実施することとなりました。

今後はスポーツと栄養などをテーマにした共同研究、引退した選手に対するキャリア教育や選手会へのインターンシップなどを予定しています。



新井貴浩選手会長(阪神)と川口清史総長

銀時計が立命館へ 95年前に中川小十郎先生が授与

立命館の創始者・中川小十郎先生が自らの名前を刻印して立命館中(現立命館中高)の首席卒業生に贈った銀製の懐中時計が

見つかり、寄贈していただきました。

ご寄贈いただいたのは宮崎恭一立命館大名誉教授と兄の見一さんです。恭一さんたちの亡父周三さんは1914(大正3)年に立命館中を卒業しました。ノーベル物理学賞を受賞した南部陽一郎さんの父・吉郎さんから計3人の成績優秀者が特別表彰され、首席の周三さんは「立命館長中川小十郎氏特別賞」とふたの裏に刻印された懐中時計を贈られました。



懐中時計は大分県の実家や親族の家から卒業証書や表彰状とともに見つかりました。周三さんは恭一さんらに時計を見せながら、立命館のことをよく語っていたといいます。恭一さんは「父からは立命館への愛着とプライドを感じていた。父も喜んでいると思う」と話していました。



上世屋棚田ツアーを開始 ～草刈り作業通じて、 「食」「農」を考えます～

宮津市上世屋地区の棚田を守り伝えようと、立命館大学経営学部を中心とする学生たちが「棚田体験ツアー」を始めました。「My Life My Rice ～最も地味な、一泊二日体験ツアー～」と題しています。草刈りなどの作業を通じて食や農を考えることが目的です。

企画したのは経営学部「丹後村おこし開発チーム」の学生54人。2008年から宮津市のNPO法人(特定非営利活動法人)「美しいふるさとを創る会」などの活動に加わり、笹

葺(ぶ)き屋
根の葺き替え
などを行って
きました。今
年度は都市



との交流による地域活性化を目指し、同市の宿泊施設「いーポート世屋 しおぎり荘」との共催で11月までツアーを行っています。

9月5日・6日には、全国の大学の村おこし学生たちをあつめた「大学生地域再生活動団体サミット」も開催されました。



嵐電借り切り「京都学」 ～立命大生 車内で発表、市民も参加～

京都について学ぶ学生や教員が6月26日、京福電鉄(嵐電)の車両を借り切り、北野白梅町(京都市北区)～嵐山(右京区)間を往復する車内で交流会や研究発表会を行いました。

文学部の自主ゼミ「洛中洛外研究会」が学生同士の交流や情報発信のため企画し、市民も含め44名が参加しました。北野白梅町駅から乗車し、京都で好きな場所などに

ついて歓談しながら嵐山駅をめざしました。

約40分間停車した嵐山駅では、洛中洛外研究会が嵐電の歴史や映画産業とのかかわりについて研究発表しました。参加者は、観光地を結んでゆっくりと走る電車内で京都の魅力を語り合いました。



2009年度 国家公務員採用I種試験 に22名が合格

6月23日、国家公務員採用I種試験の合格発表が行われました。立命館大学からは22名が合格しました(全国私大5位)。

全国の申込数は昨年度より985名増加し、22,185名(昨年度21,500名)。合格者数は1,494名(昨年度1,545名)でした。

立命館グッズ 新商品を発売

立命館グッズの新商品が発売されています。ネクタイ、ピンバッジ、ブロックメモ、宇

治茶(Rマーク入りデザイン缶)、タオルなどです。

立命館グッズは、インターネット、電話、FAXでもお求めいただけます。

皆様も是非ともご利用ください。



● インターネットでのご注文

次のアドレスにアクセスください。

<http://www.ritsumeai-shop.com/>

● FAXでのご注文

次の事項をご記載のうえ、FAXでご注文ください。

必要事項: お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、

希望お支払い方法

商品情報: 希望商品名(色・サイズ)、単価、個数

FAX: 075-463-9045

● 電話でのご注文

次までご連絡ください。

(株)クレオテック リベルテ

TEL: 075-463-9740



校友の皆さまに無料で送付させていただきます。 立命館大学・立命館アジア太平洋大学一般入学試験要項(願書)

2010年度「立命館大学・立命館アジア太平洋大学一般入学試験要項(願書)」は10月下旬発行予定です。校友の皆様には無料でお届けいたします。ご希望の方は以下の要領で立命館大学入学センターまで請求ください。

●ご請求はFAX、ハガキ、E-mailのいずれかにて承ります。

●「一般入学試験要項送付希望」の旨を明記いただき、あわせて以下の事項についてお知らせください。

①お名前 ②送り先のご住所(郵便番号含む) ③電話番号 ④卒業年 ⑤出身学部

【FAXの場合】 075-465-8210

【E-mailの場合】 nyushi09@st.ritsumeai.ac.jp

【ハガキの場合】 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

立命館大学入学センター「校友用一般入学試験願書請求係」まで

*11月上旬より、順次発送いたします。 *受付終了日: 2010年1月7日(木)(※必着)

*お問い合わせは立命館大学入学センターまで (TEL: 075-465-8351 9:00~17:30<土・日・祝および12/28~1/5を除く>)

※2010年4月開設予定(設置認可申請中)のスポーツ健康科学部の一般入学試験要項(願書)につきましては、認可後、11月中旬発行予定です。通常の一般入学試験要項には同封されていませんので、ご注意ください。
※スポーツ健康科学部の一般入学試験要項をご希望の場合は、ご請求いただく際にその旨あわせてご記入ください。

立命館大学 心理・教育相談センター 10月に無料相談会を実施

立命館大学・衣笠キャンパス内には、「心理・教育相談センター」というカウンセリングセンターがあります。通常、月～金曜日の13時～19時が相談時間となっており、初回面接5,000円で、校友の皆様にもご利用いただけます。

同センターでは、10月31日(土)に無料相談会を実施することになりました。今回は「カウンセリングを一度受けてみたいけれど、どんな感じなのかちょっと不安だな・・・」と感じている方にも、お気軽に参加いただける良い機会になればという思いから企画しました。ご希望の方は、以下をご参照の上、お申し込みください。

- 日 程 2009年10月31日(土)
- 時 間 ①11:00～②12:00～③13:00～④14:00～⑤15:00～
(約50分程度)
- 場 所 立命館大学心理・教育相談センター
(立命館大学 衣笠キャンパス 志学館1階)
- 相談内容
 - 人間関係や性格に関する悩み
 - 自分の行動・感情・思考に関する悩み
 - 育児上の不安や心配ごと(ことばや発達上の問題、教育に関する問題)
 - 学校・教育に関する問題
 - ストレス・マネジメント
 - 自己理解・自己探求
 - その他、教育・心理・医療・福祉に関すること
- お申し込み方法

電話での完全予約制となります。

電話番号 075-466-3430(立命館大学 心理・教育相談センター)

立命館宇治高等学校 「2010年度地方入学試験千葉会場・入試説明会」のご案内

立命館宇治高等学校では、昨年度より地方入学試験(千葉会場)を新設。国際バカロレア・ディプロマ認定校となり、SELコースに海外大学への進学を目指すAIPプログラムも新設します。

生徒寮完備の環境で全国から生徒募集を行っています。

<2010年1月地方入試(千葉)概要>

- 試験実施日 2010年1月16日(土)
- 合格発表日 2010年1月19日(火)
- 会 場 千葉 浦安会場(予定)
- 募集コース SELコース・普通コース 専願・併願

<全国入試説明会のご案内>

詳細は立命館宇治HPでご確認下さい⇒<http://www.ujc.ritsumei.ac.jp/ujc/>

主 催	会 場	日 程	時 間	備 考
立命館大学 校 友 会	名古屋市 名古屋国際会議場 「オール立命館校友大会」	9月 27日(日)	13:00～ 17:00	個別相談
本 校	名古屋市 立命館プラザ・名古屋	10月 3日(土)	11:00	塾・教員対象説明会
			14:00	説明会・個別相談
本 校	東京(会場未定)	10月 3日(土)	11:00	塾・教員対象説明会
			14:00	説明会・個別相談
本 校	京都府 立命館宇治中学校・高等学校	10月 10日(土)	14:00	キャンパス見学会
本 校	京都府 立命館宇治中学校・高等学校	10月 31日(土)	14:00	入試説明会・ キャンパス見学会
全寮協	福岡市 アクロス福岡	11月 4日(水)	11:00	個別相談会
	名古屋市 名古屋マリオットアソシアホテル	11月 6日(金)	13:00	個別相談会
	横浜市 エクセルホテル東急3F	11月 18日(水)	13:00	個別相談会
	東京都 御茶ノ水ガーデンパレス	11月 19日(木)	13:00	個別相談会

立命館慶祥高等学校 「2010年度入試概要」*全国入試(幕張)も実施しています。

立命館慶祥は“世界に通用する18歳”を掲げ総合学園だからこその、立命館にしかできない先進的でユニークな教育活動を展開しています。専用の男女生徒寮も完備し、充実したサポートのもと、安心・快適な高校生活が送れます。



10/ 3(土)	12:00～16:30	札幌・センチュリーロイヤルホテル
10/ 4(日)	10:30～16:00	かながわ民教主催・パシフィコ横浜
10/31(土)	14:00～16:00	高校説明会・本校
11/18(水)	13:00～16:00	全寮協主催・横浜エクセルホテル東急
11/22(日)	10:00～17:00	札幌・三越

1月入試		
入試区分	一般推薦・特別推薦・単願入試	全国入試・帰国1月入試
出願期間	2009年12月7日(月)～2010年1月13日(水)	2009年12月7日(月)～2010年1月8日(金)
試験月日	2010年1月16日(土)	2010年1月16日(土)
試験会場	本校	全国入試:幕張(ホテルグリーンタワー幕張) 帰国入試:本校・幕張(ホテルグリーンタワー幕張)
試験教科	国語・数学・英語(各50分100点)および面接	国語・数学・英語(各50分100点)および面接
合格発表	2010年1月19日(火)	2010年1月19日(火)

帰国入試		2月入試
入試区分	帰国11月入試	一般入試・専願入試
出願期間	2009年10月1日(木)～2009年10月23日(金)	2010年1月18日(月)～2010年2月9日(火)
試験月日	2009年11月8日(日)	2010年2月16日(火)
試験会場	東京(東京グランドホテル)	本校・北見・網走・帯広・釧路・函館・旭川
試験教科	国語・数学・英語(各50分100点)および面接	国語・数学・英語・社会・理科(各50分60点) および面接(専願入試のみ)
合格発表	2009年11月13日(金)	2010年2月23日(火)

*出願資格等詳細は立命館慶祥HPをご参照ください。<http://www.spc.ritsumei.ac.jp/>

「命を救う」ことを誇るのではなく、 「事故をなくす」ことを目標に

～みんなが笑顔で遊べる海水浴場のために～

●●● 小野大助 さん (文学部3回生 立命館大学ライフセービングクラブ 代表)

夏休みに、海や川に泳ぎに行かれた方も多いのではないのでしょうか。

そんな水辺の安全を守るのがライフセーバー。

立命館大学のライフセービングクラブでは、部員全員がライフセーバーの資格を取得し、

NPO 法人のメンバーとして関西の海水浴場を中心に、水辺の安全を守るために様々な活動をしています。

今回は、代表である小野さんに、ライフセービングの魅力や、活動について伺いました。



Q ライフセービングとはどういうものなの でしょうか。小野さんが興味を持った きっかけも教えてください。

ライフセービングは、直訳すると「人命救助」です。でも実は、「救助が必要な状況に追いつかないこと」が最大の使命なのです。子どもたちに海での命の守り方を教育したり、海水浴場での怪我を防止するために浜辺のゴミ拾いもします。他にも、迷子の保護やお酒に酔った人に注意を促すこともあります。そういう事故予防も広い意味では「救助活動」です。もちろん、事故は100%防げるわけではないので、救助が必要な状況では全力で救助・救命にあたります。

また、ビーチフラッグスなど、競技としてのライフセービングもあります。競技をしながら実際に救助するスキルを磨けるという点が特徴です。僕は長野県出身なので、山に囲まれた故郷ではライフセービングは、身近なものではありませんでした。ただ、高校生の時所属していた野球部で、練習中にひどい怪我をする人や、熱中症で倒れて救急車で運ばれる人を何人も見ていたので、

救急や救命の重要性は認識していました。大学に入学して間もない頃にライフセービングクラブのピラを見た時、「これだ!」と思い、即決して入部しました。

Q 立命館大学ライフセービングクラブの 主な活動内容について教えてください。

普段は、西京極アクアリーナや伏見港公園プールで救助に必要な泳ぎ方の練習をしたり、軽く筋肉トレーニングをしたりしています。それから、訓練用の人形を使って、心肺蘇生法の練習をすることもあります。週末になると、和歌山の海へ行ったり、海や救助機材を使ってトレーニングを行っています。

7月になると本格的にシーズンに入ります。僕らは毎年、和歌山県の片男波海水浴場、白浜海水浴場、三重県の阿児の松原海水浴場の3ヶ所で監視活動を行なっています。海の日から8月31日までは、海岸の近くに宿舎を借りて、クラブの仲間と共同生活をします。合宿は、仲間同士が自然と仲良くなり、団結力が強まります。

また、監視活動以外にも、ジュニアプログラムを開催して子どもたちに「自分の命は自分で守ろう、人の命はみんなで守ろう」と教えています。9月にはライフセービングの大会が始まります。学生ライフセービング大会には毎年参加しています。ただ、僕たちは、競技で得たものが、海水浴場での活動にどのように結びつくかを大切にしているので、競技の結果ではなく、ひと夏の活動結果を大切にしています。

Q ライフセービングの活動を通して 何を学びましたか。

ライフセービングは、すごく一生懸命になれる活動で、非常にやりがいがあります。地域の方々と交流ができ、他大学や社会人ライフセーバーとの繋がりもあります。そういった方々と一緒に、「何も起こさない」という同じ目標に向かって頑張れるところに魅力を感じています。

ライフセービングを通して「誰か特定の人のために頑張る」のではなく、「誰のためにでも頑張る」という姿勢を学びました。自分で考えて行動することが必要とされる場面がたくさんあるので、肉体的にも精神的にもとても成長できたと感じています。

Q 最後に、今後の目標について 教えてください。

僕自身は、ライフセービングを通して様々な知識や技術が身についたので、卒業後も救命の道に進みたいと思っています。より広い範囲で多くの人命を助けることのできる仕事につきたいと考えています。

最後に、ライフセービングクラブとしては、「one for all, all for one.」を目標に今年も頑張ります。全員がレギュラーであり、全員がスタッフとして、無事故という目標を達成していきたいです。海に遊びに来てくれた人みんなが笑顔で遊んで、笑顔で帰れることが僕達の喜びです。



校友会・グループ インフォメーション

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先	
Rちば校友の集い	10/ 3(土) 13:00	船橋グランドホテル	山本 良夫	047(422)3270
哲学同窓会総会	10/ 3(土) 16:00	アークホテル京都	竹内 正道	0795(87)0090
立命館慶祥会交流パーティー	10/ 3(土) 18:00	札幌パークホテル	立命館慶祥中・高事務室	011(381)8888
軽音楽部OB会 SUPER SESSION 2009 in OSAKA	10/ 4(日) 13:00	ライブ&バー WAZZ(ワズ)	福井 正秋	075(861)0815
立命三四郎会	10/ 7(水) 11:00	ぎをん梅の井	安藤 彦三	075(311)3716
北摂校友会総会	10/ 9(金) 18:30	ホテルアイボリー	湯川 正之	(職)06(6844)2001
和歌山県校友会総会	10/13(火) 18:30	ダイワロイネットホテル和歌山	山田啓二郎	0734(71)4911
第60回福岡県校友会総会	10/17(土) 17:00	ソラリア西鉄ホテル	清家 邦敏	(職)092(472)2621
高槻・島本校校友会総会	10/17(土) 14:00	高槻現代劇場	田中 英俊	072(695)9360
埼玉県校友会総会	10/18(日) 15:00	ラフレさいたま	常田 幸正	049(224)6535
建命会50周年記念総会	10/21(水) 14:00	京都タワーホテル	北小路光男	075(332)6111
北九州校友会総会	10/24(土) 18:00	ステーションホテル小倉	初村 雅敬	093(882)9240
建設会京都支部総会	10/24(土) 15:30	京都タワーホテル	内田 威男	(職)075(351)6878
佐賀県校友会総会	10/31(土) 17:00(予定)	ホテルニューオータニ佐賀	伊香賀俊介	0952(53)4243
機友会京都支部総会	10/31(土) 16:30	京都ガーデンパレスホテル	理工学部機械システム学系事務室	077(561)2664
宇部小野田校友会総会	11/ 7(土) 18:00	ホテル河長	森島 正信	(職)0836(34)8613
第1回法学部薬師寺公夫ゼミ同窓会	11/ 7(土) 18:00	ホテルグランヴィア京都	丸山加奈子	(職)075(465)7878
鳥取県東部校友会総会	11/13(金) 18:30	しいたけ会館「対翠閣」	西垣 佳則	(職)0857(30)0555
鹿児島県校友会総会	11/14(土) 14:00	鹿児島サンロイヤルホテル	西元 泰光	(職)099(253)1211
広島県東部校友会総会	11/14(土) 16:00	福山ニューキャッスルホテル	岩村 寿夫	084(923)4214
大分県校友会総会	11/14(土) 17:00	トキハ会館	佐藤 昌彦	097(521)5392
鳥取県西部校友会総会(50周年)	11/20(金) 18:00	米子全日空ホテル	大野木昭夫	(職)0859(32)3308
兵庫県校友会総会	11/21(土)*14:00	湊川神社楠公会館	中野 友擴	080(5713)6372
東京校友会総会	11/28(土) 14:00	グランドプリンスホテル新高輪	東京キャンパス	03(5224)8188
経済学部同窓会企画	11/28(土) 14:20	グランドプリンスホテル新高輪	経済学部事務室	077(561)3940
茨城県校友会総会	11/29(日) 13:00	水戸三の丸ホテル	木村 幸夫	029(252)8401
石川県校友会総会	12/ 5(土) 未定	ANAクラウンプラザホテル金沢	木場 密雄	(職)076(238)4131

*「りつめい」春号(236号)に兵庫県校友会が同封したチラシには11/14と記載してありましたが変更されました。ご注意ください。

校友消息(判明分)

就任

衆議院議員

奥村展三氏('63文入学)

穀田恵二氏('69文)

皆吉稻生氏('73経済)

長尾 敬氏('86経営)

古本伸一郎氏('87法)

山花郁夫氏('89法)

泉 健太氏('98法)

松岡広隆氏('05経済)

大西 智氏('86経済)

東京都議会議員(再選)

仲川元庸氏('98経済)

奈良市市長

受賞

第55回角川短歌賞

山田 航氏('06法)

訃報

日名通起氏('43法)

(元宇部小野田校友会会長)

6月27日ご逝去

前川宗克氏('57法)

(前京田辺支部会長)

8月19日ご逝去

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。

◆上仲林造氏('49経済)著

『随想ふる里創生』

備北民報社・非売品

◆葛城四郎(本名:岡田嘉文,'57法)

『おまはん! まだ早い。』

東京図書出版会*1400円+税

◆西川力氏('76文,'87経済)訳

『気候療法入門』

バレード*952円+税

◆家長知史氏('77文)

『新・映画でまなぶ世界史②』

地歴社*2200円+税

◆加藤澄子氏('80経済)他著

『不動産営業マン売り上げアップの処方せん』

住宅新報社*1600円+税

◆五間岩ゆか氏('01政策)他著

『きらいきらい大好き』

幻冬舎*1300円+税

◆黒澤善行氏('02院政策)他著

『できる総理大臣のつくり方』

春日出版*1500円+税





ある 号の特集で「皆さんの学生時代の“たまり場”はどこでしたか」と尋ねたことがありました。そこには、なつかしい“たまり場”が語られていました。所属するクラブの部室や、誰その下宿というもあり、また河原町三条の「六曜社」であつたりもしました。学園は広小路時代とは比較にならないほどでつかりましたが、“たまり場”は、それぞれの校友の若き時代の懐かしい思い出の場所として胸中にあることでしょう。

ところで、6月の校友会幹事会では、校友会館に関する様々な意見が出され、その中に「校友が気軽に立ち寄れてくつろげる、校友サロンの“たまり場”がほしい」という、幹事の方からの切実なお話がありました。私もまったく同感だと思っていましたが、このほどこの願いが多少なりとも実現することになりました。詳細は18ページに記載されています。どんどん校友の利用が増えるサロンになることを願っています。

(YT)

先日、 小学生の頃からの幼友達と会う機会がありました。懐かしい話に花が咲きましたが、思えば学生時代に楽しんだことをずいぶんと忘れていることに気づきました。映画を見に行ったり、仲間とのコーヒータ임을ゆるゆると楽しんだり、サイクリング、山登り、スキーなどなど…。大学を卒業し社会人になって、忙しい…ことを理由に、ずいぶんと遠ざかってしまったような気がします。

仕事に熱中できることは素晴らしいけれど、これからの長い時間の中で、自分の好きなことに熱中することも大切だなあと、友人と語り合いました。これを機会に新しい仲間が増えることも楽しみなことです。

この会報誌「りつめい」で紹介されています諸先輩方、また同期の皆様、そして生き生きした現役学生さんのご活躍を知り、なおさらこの気持ちが高まっています。皆様の健康とご活躍をお祈りしています。

(西村仁)

先頃、 本誌の対談でも取り上げました「裁判員裁判」がいよいよ始まりました。皆さんのところにも、そのうち、裁判候補者になったことの通知が届くかも知れません。

今のところ、まだ大きな問題は出てきてはいないようですが、今後は裁判員の負担、守秘義務の期間や範囲の検討、重罰化傾向の進展、拙速な事実認定による新たな冤(えん)罪の危険等、様々な問題点が露わになってくるかも知れません。

それでも、国民一人ひとりが、裁判という国会意思の形成のプロセスに直接関わることにより、司法への関心が高まり、意識の変化が生まれるかも知れませんし、また長年、冤罪の温床と言われてきた密室での取り調べについて、全面的可視化への道を開ききっかけになるかも知れませんので、今後の推移を見守りたいと思います。

(GEORGE)



皆様、 暑い夏が過ぎ、朝夕秋冷を覚える頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。先日、部屋の大掃除をした時、学生時代に父からもらった「手紙」が出て参りました。故郷を離れて立命館で学んでいた私への励ましのメッセージと再会し、懐かしさで温かい気持ちになりました。

この会報誌「りつめい」も、母校を巣立ち、全国で生活されておられる皆様のお住まいに1通1通届けられる「手紙」のような存在ではないでしょうか。「みなさん、お元気ですか。立命館は今こんな様子ですよ」という母校からのメッセージ。開封する時には「今回は何が書かれているだろう」と、ちょっぴり楽しみな気持ちに浸ることができる、そんな会報であればいいなと思います。

いよいよスポーツ・芸術の秋、そして旅行の秋。はじめて名古屋で開催された「オール立命館校友大会2009」をはじめ、本誌でも紹介されております大学の催しや学生の試合・イベントが多数行われる季節。仕事や生活の合間に、久しぶりに母校を訪ねられてみてはいかがでしょうか。

(加藤良直)